

- 問1

1980年代までの都市部では、地価の高騰などにより人口が郊外へ流出する現象が見られましたが、近年では地価の下落や再開発を背景に、郊外から再び都市中心部へと人口が流入する現象が起きています。この現象を何と呼びますか。（2024年 岐阜県公立入試 類似）

1. 限界集落化

2. ドーナツ化現象

3. 過疎化現象

4. 都心回帰現象
- 問2

明治政府が日本の近代化を推進するために、最新の機械と技術を導入して群馬県に設立した施設について説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。（2020年 秋田県公立入試 類似）

1. 長崎県に設置され、鉄鋼の国産化を目的とした官営の八幡製鉄所。

2. 石見銀山遺跡の一部として、銀の精錬技術を全国に広めた施設。

3. フランスの技術を導入して建設された官営模範工場である富岡製糸場。

4. 北海道の開拓を目的として、屯田兵の居住区に併設された大規模農場。
- 問3

東京都渋谷区の統計によると、夜間にその区域に住んでいる居住人口は約22.4万人ですが、昼間の時間帯には周辺地域からの通勤・通学者が流入し、人口が約53.9万人にまで増加します。このような都市中心部で見られる人口の特徴について、正しく説明しているものはどれですか。（2021年 群馬県公立入試 類似）

1. 郊外へのオフィス移転が進んだ結果、通勤・通学者が減少し、昼間人口が減少傾向にある。

2. 交通網の発達により、昼間人口と夜間人口の差がほとんどなくなっている。

3. 周辺地域からの通勤・通学者の流入が多いため、昼間人口が夜間人口を大きく上回っている。

4. 都心での生活コストが高いため、昼間人口よりも夜間人口のほうが多い状態になっている。
- 問4

関東地方に位置する茨城県は、野菜の産出額が約1890億円という非常に高い数値を記録しています。このように、巨大な消費地である東京などの首都圏への近さを活かし、新鮮な野菜を大量に供給する農業の形態を何と呼びますか。（2019年 三重県公立入試 類似）

1. 抑制栽培

2. 近郊農業

3. 促成栽培

4. 施設園芸
- 問5

千葉県観光統計において、訪日外国人の延べ訪問者数が全国3位であるのに対し、一人当たりの旅行消費単価が全国46位と著しく低い状況から読み取れる、地域の課題として最も適切なものはどれか。（2025年 千葉県公立入試 類似）

1. 成田国際空港から入国した外国人が、県内に宿泊・滞在せずに他都府県へ移動してしまう「通過型観光」からの脱却。

2. 県内の宿泊施設が不足し、延べ宿泊者数が訪問者数を大幅に上回っている状況を改善するためのホテル建設。

3. 一人当たりの旅行消費単価を上げるために、成田国際空港の着陸料を大幅に値上げして観光客の質を高めること。

4. 成田国際空港の利用者数が全国的に見て減少傾向にあるため、空港の認知度を高めて訪問者数を増やすこと。
- 問6

2000年代以降の工場立地件数に関する統計において、群馬県、栃木県、茨城県からなる北関東地域は、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県からなる南関東地域を上回る件数を記録したことがあります。北関東でこのように工場立地が進んだ背景として、最も適切な説明を次の中から選びなさい。（2017年 神奈川県公立入試 類似）

1. 南関東よりも労働賃金が高く、高度な技術を持つ人材が北関東に集中しやすいため。

2. 大規模な港湾施設が整備され、内陸部であっても海外からの原材料の輸入が容易になったため。

3. 南関東に比べて地価が安く、高速道路網の整備によって広い敷地を確保しやすくなったため。

4. 内陸県である群馬県は、地震や台風の影響を全く受けないため、生産拠点が集中したため。
- 問7

日本の人口動態に関する統計において、東京都では他地域から引越してくる人数（転入者数）が、他地域へ引越していく人数（転出者数）を大きく上回る状況が続いています。このような人口移動の結果として生じる人口の増加を何と呼びますか。（2018年 三重県公立入試 類似）

1. 合計特殊出生率の向上

2. 社会的増加

3. 人口爆発

4. 自然的増加
- 問8

関東地方の工業の特色について、千葉県の東京湾岸一帯には大規模な埋立地が広がり、石油精製や化学工業の工場が集まる全国有数の石油化学コンビナートが形成されています。この工業地域を何と呼びますか。（2016年 長崎県公立入試 類似）

1. 北関東工業地域

2. 京葉工業地域

3. 鹿島臨海工業地域

4. 京浜工業地帯
- 問9

明治時代に日本の近代化を支えた、群馬県を中心に分布する養蚕・製糸業に関連する世界文化遺産は何か。（2025年 北海道公立入試 類似）

1. 明治日本の産業革命遺産

2. 石見銀山遺跡とその文化的景観

3. 白川郷・五箇山の合掌造り集落

4. 富岡製糸場と絹産業遺産群
- 問10

千葉県浦安市付近の地形図を用いた地域調査において、河川沿いに位置する「建物が密集し、細い路地が入り組んだ古い商家の建物が残る地区」を調査対象としました。このような地区の景観や土地利用に関する説明として、最も適切なものはどれですか。（2022年 東京都公立入試 類似）

1. 高度経済成長期以降に海を埋め立てて造成された工業地帯

2. 近年、大規模な再開発によって計画的に整備された新市街地

3. 等高線が密に描かれる、傾斜地の森林を切り開いた住宅地

4. 古くからの町並みや伝統的な商業活動の面影を残す地区
- 問11

東京都港区の統計において、1980年代半ばと現在を比較すると、かつては減少傾向にあった人口が、近年では40歳代前後の層を中心に顕著な増加に転じています。このような人口動態の変化をもたらした、都市中心部での取り組みとして最も適切なものはどれかを選びなさい。（2024年 岐阜県公立入試 類似）

1. 都心部から地方への企業本社の移転促進

2. 過疎地域からの集団移住を促す制度の導入

3. 工場の跡地などを活用した大規模な再開発

4. 郊外における大規模なニュータウンの建設
- 問12

ある統計資料において、都心部の地価が非常に高水準で推移しているのに対し、郊外の地価は低く抑えられており、それに伴って郊外の人口が増加している傾向が見られました。この現象の背景にある仕組みとして正しいものはどれですか。（2021年 群馬県公立入試 類似）

1. 地価が高い地域ほど生活環境が良好であるため、人々が無理をしてでも都心部に移住するため。

2. 郊外は都心部に比べて交通の利便性が悪いため、土地の価格が下落し人口が減少するため。

3. 住宅購入費用を抑えたい人々が、地価の安い郊外を選択して居住するため。

4. 都心部の地価が高騰することで、企業のオフィスがすべて郊外に移転し、職住接近が実現したため。
- 問13

ある工業地域の出荷額の割合を示した統計資料によると、機械工業が約四十五パーセントと最も大きな割合を占め、次いで食料品が約十五パーセント、金属が約十四パーセント、化学が約十パーセントとなっています。このように機械工業を中心に多種多様な工業が混在し、内陸部に多くの工場が進出している背景として、最も重要な要因は何ですか。（2022年 山口県公立入試 類似）

1. 近隣に大規模な油田があり、石油化学工業の原料を安価に調達できたこと

2. 高速道路網の発達により、トラックによる迅速な輸送が可能になったこと

3. 掘込港湾の建設により、大型の貨物船による原材料の輸入が容易になったこと

4. 涼やかな気候を活かして、精密機械の組み立てに必要な環境が整っていたこと